

**関東地方大気環境対策推進連絡会**  
**第1回微小粒子状物質・光化学オキシダント調査会議 議事概要**

日 時 令和3年6月15日(火) 14:00~16:00

開催方法 WEB開催

出席者 会議資料 出席者名簿参照

議事概要

**1 挨拶要旨(埼玉県・宮原課長)**

本会議は行政機関と研究機関が参加する全国でも貴重な会議になっている。

調査対象はSPMからPM<sub>2.5</sub>に移行し、光化学オキシダントにも取り組むようになった。

PM<sub>2.5</sub>については、環境基準をほぼ100%達成できるようになったが、光化学オキシダントはほぼ0%である。

現状を打開するには、オキシダント発生メカニズムの解明など、難しい問題が山積みである。

大気環境の保全是、広域連携による対策が重要である。忌憚ない意見交換をしていただきたい。

**2 自己紹介**

出席者名簿の自治体順に行った。

**3 WEB会議の留意事項の説明**

発言の際はミュートを解除しビデオをオンにする。名前表示は行政か研究かわかるようにする。

音声等が不調な場合は、チャットも使用可能である。

**4 議事**

**(1) 令和3年度事業計画について(資料1)(埼玉県)**

- 連絡会で承認されているので概要説明とする。
- 事業概要は例年と同様だが、試料捕集期間は昨年と1日程度ズレがあるので確認していただきたい。
- 運営方法も例年と同様である。今後の会議の開催については、WEBか書面となる予定。

**【質疑応答等】**

横浜市：昨年度の第4回会議の修正版の資料に記載のあった夏の調査が抜けている。最終承認されたものには記載されていたはずである。

埼玉県：東京都(昨年度幹事)に確認し、再度周知する。

⇒ [事後対処] 連絡会において、令和3年5月10日付け承認された「令和3年度微小粒子状物質・光化学オキシダント調査会議事業計画案」について、令和3年6月16日に上

記の内容を含んだ資料への差し替えの連絡があった。これを受けて、本調査会議における当該資料も差し替えとする。

(2) 令和3年度調査計画(案)について(資料2)(埼玉県)

- 今までこの資料は修正に修正を重ねたので、整合性が取れない箇所は作り直した。
- 資料2の「4 調査の推進に必要な物品等」については、本連絡会から既に承認を得ている。なお、会議の名称変更に伴い、ホームページの予算が例年より数万円増えている。

⇒ 各自治体から意見がなかったため、資料2は案の通り承認された。

(3) 令和2年度調査結果のとりまとめについて(資料3、4、6-4)

ア 令和2年度微小粒子状物質合同調査報告書の作成(案)(資料3)(埼玉県)

- 資料3は、基本的に従来通りだが、内容を整理し作り直した。
- 4章の事例数は、該当がどのくらいあるかによって変わり、場合によってはゼロになる。選定基準を基に全体を見て判断する。
- 「1章 はじめに」「2章 調査方法」「6章 総括」は、主担当は幹事県、副担当は翌年度の幹事県としている。「3章」について、変更がある主担当には事前に連絡済である。「5章 発生源寄与の推定」の主担当は三県市で調整していただき、後で幹事県に連絡していただきたい。
- 「資料編」の「2 測定方法及び検出下限・定量下限」については昨年度同様の担当である。他は幹事県か関連がある自治体を担当とした。
- 「光化学オキシダント調査事業」は、資料6-4にあるように解析と測定の二本立てである。解析については、昨年度は基礎解析、今年度は詳細解析となっている。国環研のⅡ型共同研究と連動して進めていく。なお、報告書の作成時期は状況を踏まえて調整する。
- 執筆分担は昨年度のものをベースに作成した。副担当は主担当のサポートをお願いしたい。

【質疑応答等】

千葉市：光化学オキシダント調査事業の担当に千葉市があるが、人員削減やコロナ対応のため外していただきたい。

埼玉県：群馬県、神奈川県、東京都は構わないか。

群馬県：承知した。千葉市は共同研究の参加メンバーなので、できる範囲で協力していただけたらと思う。

埼玉県：別冊1-2について、横浜市が昨年度硫酸イオンの測定をしていないのは入力ミスかどうか確認したい。

横浜市：入力ミスである。

⇒ 執筆分担について他に意見がなかったため、「光化学オキシダント調査事業」から千葉市を外し、他は案の通りとする。

イ 令和2年度大気環境常時監視測定データの収集と配付について（資料4-1）  
（埼玉県）

- 「②PM2.5質量濃度日平均値」は資料記載の3つの点に留意していただきたい。  
「③PM2.5高濃度事象の詳細解析に係る大気常時監視測定データ」の対象期間は後日通知する。
- データのアップロードは、ホームページに各自でアップロードしていただきたい。難しい場合は、事務局へ連絡をいただきたい。アップロードが完了したら、事務局からメールで連絡周知するので、各自ダウンロードしてほしい。なお、データのアップロード方法については、別途周知する。
- 例年は会議資料にホームページのIDとPWを掲載していたが、今回はセキュリティを考慮し、載せていない。別途連絡する。

【質疑応答等】

埼玉県：様式1の成分分析について、黄色セルはプルダウンから選ぶ。昨年度と変更がある場合があるので、注意していただきたい。

様式について、資料編2の担当である静岡市からの要望があれば教えていただきたい。

様式1の単位についてだが、単位が合わせられていないケースがよくある。自治体のシステムによって単位が異なることがあるが、単位を合わせていただきたい。様式3について、項目ごとに表がある。単位が明記されているので、単位を合わせてほしい。

調査会議のホームページのIDとPWは変更する予定。ホームページを立ち上げてから一度も変更されていない上、かなり簡単なものになっている。検索エンジンの精度が上がり、ログイン後のページも検索できてしまう。

埼玉県：未発表のデータを収集しているので扱いに注意していただきたい。貼り付けの単位も注意願いたい。データの提供があってから分析が始まるので、期限厳守でお願いする。

茨城県：様式1～3の注意事項についてだが、常時監視の結果を報告する際に、アスタリスクや999がついている濃度を報告されることがあるので適宜修正してほしい。

⇒ 意見なしのため、案について承認された。

(4) 令和3年度年間スケジュール（案）について（資料5）（埼玉県）

- 基本的には例年と同じであるが、第2回会議は9月下旬、場合によっては10月上旬予定。大気環境学会後に実施する。
- スケジュール記載のデータ提供①は資料4-1の①・②、データ提供②は資料4-1の

③のことである。

⇒ 意見なしのため、案について承認された。

(5) 光化学オキシダントに係る測定調査の実施計画（案）について（資料6-1~4）  
（神奈川県）

- 本調査は参加可能な自治体のみ実施する。
- 東京湾の天気で実施有無を判断するが、天気が良くても次の日の方が光化学反応が進みそうだと判断したら、予備日に移す可能性もある。また、①の期間が7月29日の最終になってしまった場合は、東京都、神奈川県、千葉市、横浜市、川崎市は②の期間は実施できない。
- 採取間隔については揃えるのが望ましいが、勤務体制もあるので各自治体にお任せしたい。
- 実施決定の通知方法は、ホームページ掲載と幹事県からの一斉メール（開封機能などを使用）の両方を検討しているが、正式に決まったら周知する。
- 「別紙 調査項目一覧」の成分について、自治体によって異なる呼び方をしているものもあるのでできるだけ統一した。誤りがあれば指摘してほしい。

【質疑応答】

さいたま市：回答方法は、Google フォームが使用できるか。

神奈川県：Google フォームはオフィシャルな場では使えない場合があるので、難しいと考える。

⇒ 他に意見なしのため、案について承認された。

## 5 報告

(1) 令和2年度精度管理試料分析結果についての報告（東京都）

- イオン成分で分析を実施した。結果は良好で、ばらつきはなかった。炭素成分は例年と異なり半分の量だった。
- OC、ECに差はみられないが、他の値で差が見られた。ただし、データが1行ずれている部分や単位の表記が誤っている箇所があるので、改めて修正した資料を共有する。

⇒ 各自治体から意見や質問はなかった。

## 6 その他（埼玉県）

(1) Microsoft Forms について

- 今回状況調査をするにあたって、今回はMicrosoft Forms を使って回答をお願いした。Google フォームだと県庁LANからアクセスできないケースがあるが、Microsoft Forms なら使用できるのではないかと。また、質問設定が万全でないものもあったが、すぐ修正で

きるという利点もあった。事務作業の効率化のために、Microsoft Forms を活用したいが、不都合があれば教えていただきたい。あと1～2度は使用の機会がある。

⇒ 特に意見なしのため、今後も Microsoft Forms を使用したい。

## (2) 記者発表について

### 【質疑応答等】

横浜市：光化学オキシダント調査について、昨年度は記者発表を行った。昨年度は東京都が原案を作成したが、今年度はどんな取り扱いをするのか。

埼玉県：この場で正式な回答はできない。

群馬県：VOC調査は国環研のⅡ型共同研究も関与しているので、関東PM・Ox会議で記者発表を行うのは難しい。

埼玉県：昨年度は有志の自治体のみでの発表になったと記憶している。

横浜市：記者発表をする際は伺いを立てる。

埼玉県：記者発表をやるつもりでデータを集めるのか、データを見てから発表するのか。自治体の足並みもそろえなければならない。

## (3) AIを利用した光化学オキシダントの予測研究について（静岡県）

### 【質疑応答等】

埼玉県：AIを利用した光化学オキシダントの予測研究について、静岡県から情報を提供頂きたい。

静岡県：研究所員自らがAIのコード記述・実装を行っている。ある程度うまくいったら、他自治体から3年分くらいのデータ提供の協力をいただきたい。

以上